

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問事業・にじいるバナナ		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 9日		2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 9日		2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 3月 9日		2026年 3月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	21施設	(回答数) 21施設
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子や環境(人・物)に合わせて、訪問時間や訪問員の選定、間接支援・直接支援等、ニーズに沿って柔軟に支援を行っている。 ・繋がりのある支援や助言を行うために、自宅や訪問先、事業所での様子を確認し、児童の課題に関連する科目や活動に、介入できるよう訪問の頻度や日程を提案している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援ついて、意義や目的、支援方法を事前に書面で説明を行っている。 ・訪問開始前に保育士や先生方と顔合わせを行い、対象児童の情報を共有したうえで、訪問先での課題と擦り合わせ、訪問時間や訪問員を選定している。 ・アセスメントの内容をまとめ、児童の特性の説明と特性に合った関わり方や強み、訓練・環境調整の方法などを書面にて訪問先へ伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を保持しやすいクッション、スクイズ、滑りにくい物差し、マーカーマットなど学習や活動に参加しやすくするための補助的道具を準備し、児童へすぐに活動できるよう助言・提案していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種(保育士・小学校、幼稚園教諭、作業療法士等)の訪問員を配置し、児童の特性やニーズ、課題に合わせて訪問員を選定している。 ・訪問先での課題を共有し、関連施設の児童発達支援・放課後等デイサービスでの療育に、素早く反映させ支援に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時の支援内容を訪問支援員同士で課題や支援方法を検討し、次回の訪問支援に繋げる。 ・支援の偏りをなくするため、担当以外の訪問支援員が訪問し意見をもらう機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の体調不良や学校行事等で訪問日の急な変更の申し出に対し、訪問日程や訪問支援員を変更し、支給された回数を実施出来るよう継続支援していく。また、仮に訪問支援員を変更した場合でも、児童の様子が把握できるように常に情報共有を行っている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語を分かりやすく説明・記録を行い、理解しやすいように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画及び訪問時の様子や支援内容が、その日のうちに保護者へ伝わるようなデibro・電子システムを取り入れている。 ・保護者だけでなく、関係機関へ定期的にフィードバックを行っている。また、訪問先で統一した支援を行えるよう、書面にて説明し配布している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に配慮し、保護者へ訪問先での活動の様子を具体的にイメージできるよう写真等を提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員によって、アセスメントの内容が異なるため、質が一定していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員が各々で課題の抽出や評価をしているため、伝達するうえでのツールがなく統一性がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの訪問支援員でも一定したアセスメントが出来る様、アセスメントツールを作成しているが、活用できていないため活用していく。 ・誰でも使用できるようなアセスメントツールを活用し、統一した支援ができるよう取り組む。 ・会議や研修会へ参加し、事業所内で症例検討を行うことで、訪問支援員の質の向上に務める。
2			
3			